

アンケート入力用のメモ用紙としてご利用ください。

第 61 回日本臨床細胞学会共催セミナー デジタルサイトロロジーアンケート調査その 1

設問 1

都道府県について

所属している地域連携組織の都道府県をお答えください。

(_____)

設問 2

回答者情報

細胞検査士番号(JSC)をお答えください。細胞検査士認定試験を受験予定の社会人の方は 99、学生の方は 00 でお答えください。

個人名を特定する施設名や氏名は公表しませんのでご安心ください。

(_____)

設問 3

経験年数について

細胞診の実務経験年数を教えてください。

資格取得に向けて勉強中

経験なし

1～5 年

6～10 年

11～15 年

16～20 年

21～25 年

26～30 年

31 年以上

設問 4

WSI の使用経験について

バーチャルスライド(WSI)装置の使用経験について教えてください。(複数回答可)

病理・細胞診業務で使用経験あり

研修会や外部精度管理で使用経験あり

教育現場で使用経験あり

使用経験なし

分からない

アンケート入力用のメモ用紙としてご利用ください。

設問 5

WSI の導入について

現在、スキャナー(WSI)導入されていますか？

はい

いいえ

設問 6

スキャナーメーカーについて

上記設問で「はい」とお答えいただいたかたにご質問です。

どちらのスキャナー(WSI)を導入されていますか？

メーカー名をお答えください。

設問 7

スキャナーの使用年数について

上記設問で「はい」とお答えいただいたかたにご質問です。

現在使用中のスキャナー(WSI)の使用年数はどれくらいでしょうか？

10 年以上

7 年～9 年

5 年～6 年

～4 年

設問 8 症例 1

症例 1 の推定診断として正しいものを選んでください。

症例 30 歳代 子宮腔部頸部 LBC 標本

NILM

ASC-US

ASC-H

CIN1/LSIL

CIN2/HSIL

CIN3/HSIL (Severe dysplasia)

CIN3/HSIL (CIS)

SCC

アンケート入力用のメモ用紙としてご利用ください。

設問 9 症例 2

症例 2 の推定診断として正しいものを選んでください。

症例 40 歳代 子宮腔部頸部 LBC 標本

- NILM
- ASC-US
- ASC-H
- CIN1/LSIL
- CIN2/HSIL
- CIN3/HSIL (Severe dysplasia)
- CIN3/HSIL (CIS)
- SCC

設問 10 症例 3

症例 3 の推定診断として正しいものを選んでください。

症例 70 歳代男性 左肺上葉擦過標本

- No malignant cells
- Squamous cell carcinoma
- Adenocarcinoma
- Small cell carcinoma
- Malignant lymphoma
- Metastatic adenocarcinoma
- Repair cells

設問 11 症例 4

症例 4 の推定診断として正しいものを選んでください。

症例 60 歳代女性 左肺下葉擦過標本 既往歴:直腸癌

- No malignant cells
- Squamous cell carcinoma
- Adenocarcinoma
- Small cell carcinoma
- Malignant lymphoma
- Metastatic adenocarcinoma
- Repair cells

アンケート入力用のメモ用紙としてご利用ください。

設問 12 症例 5

症例 5 の推定診断として正しいものを選んでください。

症例 70 歳代女性 甲状腺左葉腫瘍穿刺吸引標本

パパニコロウ染色、ギムザ染色

- No malignant cells
- Adenomatous goiter
- Papillary carcinoma
- Medullary carcinoma
- Follicular tumor
- Malignant lymphoma

設問 13 症例 6

症例 6 の推定診断として正しいものを選んでください。

症例 70 歳代女性 右乳房腫瘍穿刺吸引標本

パパニコロウ染色、ギムザ染色

- No malignant cells
- Fibroadenoma
- Intraductal papilloma
- Invasive ductal carcinoma
- Ductal carcinoma in situ

設問 14 症例 7

症例 7 の推定診断として正しいものを選んでください。

症例 70 歳代女性 洗浄腹水標本

パパニコロウ染色、Diff quick 染色、PAS 反応

- No malignant cells
- Reactive mesothelial cells
- Malignant mesothelioma
- Disseminated adenocarcinoma
- Malignant lymphoma

アンケート入力用のメモ用紙としてご利用ください。

設問 15 症例 8

症例 8 の推定診断として正しいものを選んでください。

症例 20 歳代女性 左頸部リンパ節穿刺吸引標本

パパニコロウ染色、ギムザ染色

No malignant cells

Reactive lymphoid hyperplasia

Necrotizing lymphadenitis

Malignant lymphoma

Metastatic adenocarcinoma

設問 16 症例 9

症例 9 の推定診断として正しいものを選んでください。

症例 70 歳代男性 自然尿 LBC 標本

パパニコロウ染色

Negative for malignancy

Atypical cells

Suspicious for malignancy

Malignant LGUC

Malignant HGUC

Small cell carcinoma

設問 17 症例 10

症例 10 の推定診断として正しいものを選んでください。

症例 70 歳代男性 膵尾部腫瘍 EUS-FNA 標本

パパニコロウ染色

No malignant cells

Invasive ductal carcinoma

p-Neuroendocrine tumor (pNET)

Anaplastic carcinoma

Malignant lymphoma

アンケート入力用のメモ用紙としてご利用ください。

設問 18

画質について

WSI で記録した細胞像の画質はいかがでしたか。

画質は顕微鏡像と差がなく、良悪性や組織型推定は可能である。

画質は顕微鏡像には劣るが、ある程度の判断は可能である。

画質は顕微鏡像に劣るため、実用的ではない。

設問 19

背景所見の観察について

背景所見の観察はいかがでしたか？

可能である。

ある程度可能である。

不可能である。

設問 20

細胞集塊の観察について

細胞集塊の観察についてはいかがでしたか？

細胞結合性、細胞重積性や細胞配列の観察の可否

可能である。

ある程度可能である。

不可能である。

設問 21

胞体の観察について

胞体の形状や胞体内構造の観察はいかがでしたか？

可能である。

ある程度可能である。

不可能である。

アンケート入力用のメモ用紙としてご利用ください。

設問 22

核の観察について

核の形状や核クロマチン性状、核小体の観察はいかがでしたか？

可能である。

ある程度可能である。

不可能である。

設問 23

改善点について

改善点として最も重要と思われた事をお答えください。選択肢にないご意見(その他)については最後の設問 25 の回答欄にお答えください。

改善は不要

マウスでの操作が困難

フォーカスがあまい

画像の明るさ

画像のレスポンス

層(Z軸方法)スキャン不足

その他

設問 24

期待することについて

デジタルサイトロジーに期待すること(複数回答可)

選択肢にないご意見(その他)については最後の設問 25 の回答欄にお答えください。

スクリーニング

遠隔術中迅速細胞診

コンサルテーション

画像解析

AI 診断

外部精度管理調査

研修、教育教材として e-ラーニング

標本保管

テレワーク

その他

アンケート入力用のメモ用紙としてご利用ください。

設問 25

ご意見

今回のバーチャルスライド(WSI)による細胞像をご覧頂いて、感想や課題などのご意見がありましたらご教示ください。

アンケート回答はこちらからお願いします。

<http://start30.cubequery.jp/ans-0340767c>

